

事業名称: 地域交流作品展～書道家がつなぐ地域の文化の交流
 団体名: 一華書道会

1 事業内容

事業の名称 地域交流作品展～書道家がつなぐ地域の文化の交流

①事業の名称 おもしろ昆虫化石館(作品展)

日時 2025/7/26～2025/8/11

場所 新温泉町八田コミュニティセンター

内容 7/26～8/10作品展を開催:期間中は約330人の来場あり、新温泉町の地元の方は複数回の来場も多くあった。イベント開催時は、書道体験に子どもから大人まで参加されていた。

【事業経過】

月日	実施内容	場所	参加人数
6/27 7/8	企画会議(実施内容決定)	じばさん但馬	3人/3人
7/24	作品展準備	八田コミュニティセンター	5人
7/26 ~ 8/10	作品展(7/27 イベント実施:揮毫・うちわに絵や字を書く)	八田コミュニティセンター	期間中 330人の来場者
8/10	後片付け・反省会	八田コミュニティセンター	5人

②事業の名称 「書 彫 写」書道家・仏像彫刻・写真家による三人展を実施。

日時 2025/11/15～2025/11/24

場所 兵庫県立円山川公苑美術館(豊岡市小島 1163)

内容 11/15～11/24まで三人展を開催:11/15.16.23.24は体験会を開催し、書の揮毫、篆刻体験、彫刻とのコラボ作品、マイカレンダー-作成の体験会を実施。期間中 300名を超える来場者があり、トークイベントでは三人の縁を感じるトークに多くの共感をいただく。

【事業経過】

月日	実施内容	場所	参加人数
8/28 9/16 10/7 11/4	打合せ(実施内容決定)	じばさん但馬	6人/6人/6人/6人
11/14	会場準備	円山川公苑美術館	10人
11/15 ~ 11/24	三人展開催(11/15.16.23.24 イベント・体験会実施)	円山川公苑美術館	約300人
11/24	反省会	大屋ビッグラボ	4人

③事業の名称 華江書道教室作品展

日時 2026/1/31～2/1

場所 養父公民館(養父市広谷 250)

内容 地域交流の場、書道教室生徒の作品発表の場として実施。揮毫・生徒による席上揮毫、書道体験を通じ地域の方々との交流、文化伝承を行う。(養父市長、教育長もご来場頂く)

【事業経過】

月日	実施内容	場所	参加人数
12/3 12/10 1/7	理事会(実施内容決定)	養父公民館	7人/7人/7人
1/30	会場準備	養父公民館	9人
1/31 ~ 2/1	作品展開催(2/1 イベント・体験会実施)	養父公民館	約300人
2/1	反省会	養父公民館	8人

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

- ①但馬(養父市・豊岡市)をの教室を拠点に活動しているが、北但での展示・イベント開催への関りを通じて他地域との文化交流が出来、新温泉の文化を深く知る機会になった。
- ②イベント時の進行、体験会でのサポート、来場者への会場内のガイドなど、書以外の目的の来場者とも文化交流する機会になった。
- ③作品展の企画、準備、運営を理事を中心に実施。自主的に企画運営する基盤を作ることができた。

(2) 地域への波及

- ①昆虫展示とコラボしての書道作品展示、イベント時の書道体験(うちわに絵や字を書く)、書道家の揮毫を通じて地域交流を実施。
 - ・過疎地での開催を通じ多くの県内・県外からの来場者(新温泉町以外からの来場者)の集客とおもしろ化石昆虫館をより多くの方に知っていただく機会になった。
- ②各地からの来場者に円山川公苑美術館の存在を知っていただき、異文化交流の場として地域交流いただく機会になった。
- ③毎年養父市の同場所にて開催することで地元に着、養父市・養父市教育委員会の後援もあり地域活性、地域交流の場としても認知される行事の一つとなっている。

3 協働の相手方

①新温泉町八田地区の住民、町内小学生と協働

7/31～1週間、イベントの様子は地元新温泉町ケーブルTVにて放映

②豊岡市気比地域の住民

③養父市、養父市教育委員会に後援で協働。日光認定こども園の園児参加で協働。やぶ国際交流協会の来日外国人、外国人同士のコミュニティーからの参加の来場により地域住民との文化交流で協働。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

- ①降雪地帯であり養父市・豊岡市から車で片道約1時間の道のりがあるが、開催時期を冬季以外の夏休み、春休みなどにする事で継続は可能かと考える。
- ②書以外の多文化交流を継続することがそれぞれの文化のすそ野を広げ文化伝承につながる。3つの文化以外との共同開催を視野にいれて継続実施を考えていく必要がある。
- ③作品展においては、自主企画運営するしくみ作りの基盤が出来たので次年度以降は更にブラッシュアップして様々な企画につなげることができると考える。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

- ①地域活性化の一助になるためには、事前のインフォメーション等集客活動が重要。地元、地域の協力が必要。
- ②美術館は作品展示会場としては特筆すべき点が多く、来場者に円山川公苑美術館を知って頂き落ち着いた鑑賞いただける場を提供することができた。
- ③養父市外の地域(但馬全域、京丹後市)との交流、海外からの来日外国人との異文化交流が定着してきた。今後もさらに交流が深まるように日本文化の継承を行なう(茶道など)



2025/7/26 おもしろ昆虫化石館展示会場内



2025/11/15 三人展トークショー